



# Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 7.3

## JBoss EAP XP のアップグレードおよび移行ガイド

JBoss EAP XP 1.0.x から JBoss EAP XP 2.0.0 へのアップグレードおよび移行のガイド  
ダンス



# Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 7.3 JBoss EAP XP のアップグレードおよび移行ガイド

---

JBoss EAP XP 1.0.x から JBoss EAP XP 2.0.0 へのアップグレードおよび移行のガイダンス

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

## 法律上の通知

Copyright © 2023 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/JBoss\_EAP\_XP\_upgrade\_and\_migration\_guide.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

本書では、JBoss EAP XP 1.0.x を JBoss EAP XP 2.0.0 にアップグレードし、必要なアプリケーション移行に関する情報を提供します。

---

## 目次

<b>第1章 JBOSS EAP XP のアップグレード .....</b>	<b>3</b>
1.1. JBOSS EAP XP 1.0.X から 2.0.0 へのアップグレード	3
1.2. JBOSS EAP XP 2.0.0 アップグレードのトラブルシューティング	4
互換性のないバージョンの JBoss EAP	4
一貫性のない状態の既存のパッチ	4
複数の JBoss EAP XP パッチストリームがインストールされている	4
1.2.1. JBoss EAP XP の削除および再インストール	4
1.3. JBOSS EAP XP 2.0.0 へのパッチ適用	5



## 第1章 JBOSS EAP XP のアップグレード

JBoss EAP XP 2.0.0 には新機能が導入されました。JBoss EAP XP 1.0.x を JBoss EAP XP 2.0.0 にアップグレードし、これらの機能と機能をインストールに追加します。

- 起動可能な JAR の作成: 起動可能な JAR には、サーバー、パッケージ化されたアプリケーション、およびサーバーの起動に必要なランタイムが含まれます。
- 追加のサーバーヘルスプローブ:
  - **server-status**: サーバーが実行されているかどうかを示します。
  - **boot-errors**: ブートエラーが検出されたかどうかを示します。
  - **deployment-status**: デプロイメントのステータスを示します。

### 1.1. JBOSS EAP XP 1.0.X から 2.0.0 へのアップグレード

JBoss EAP XP マネージャーで提供される **upgrade** コマンドを使用して、JBoss EAP XP 1.0.x を 2.0.0 にアップグレードします。



#### 注記

JBoss EAP XP 2.0.0 は JBoss EAP 7.3.4 および 7.3.z バージョンで認定されています。

#### 前提条件

- ベース JBoss EAP サーバーが 7.3.4 以降のパッチを適用するように更新されている。
- **製品のダウンロードページ** から JBoss EAP XP 2.0.0 パッチをダウンロードしている。

#### 手順

1. サーバーが正しいパッチにあり、JBoss EAP XP 1.0.x がインストールされていることを確認します。

```
$ java -jar jboss-eap-xp-manager.jar status --jboss-home=__<path_to_eap>__
...
You are currently on JBoss EAP XP 1.
You are using an old version of JBoss EAP XP. The current version is 2, please upgrade.
Enabled patch streams and their cumulative patch ids:
- Patch stream: 'JBoss EAP'; Cumulative patch id: 'jboss-eap-7.3.4'
- Patch stream: 'jboss-eap-xp-1.0'; Cumulative patch id: 'jboss-eap-xp-1.0.0.CP'
Available commands in this state are: [remove, upgrade]
```

この出力は、サーバーが JBoss EAP XP 2.0.0 にアップグレードする準備ができていることを示しています。

他の出力が表示される場合は、トラブルシューティングの推奨事項を参照してください。

2. **upgrade** コマンドを使用して JBoss EAP XP 1.0.x を 2.0.0 にアップグレードし、JBoss EAP XP 2.0.0 パッチを適用します。

```
$ java -jar jboss-eap-xp-manager.jar upgrade --jboss-home=__<path_to_eap>__ --xp-patch=__<path_to_patch>__/jboss-eap-xp-2.0.0-patch.zip
```

- 
- 3. **yes** を入力して、サポートポリシープロンプトを受け入れます。  
サーバーは JBoss EAP XP 2.0.0 パッチストリームを管理する準備ができており、JBoss EAP XP 2.0.0 パッチで更新されます。

## 関連情報

- [JBoss EAP XP 2.0.0 アップグレードのトラブルシューティング](#)
- [JBoss EAP 製品のダウンロードページ](#)

## 1.2. JBOSS EAP XP 2.0.0 アップグレードのトラブルシューティング

JBoss EAP XP マネージャーの **status** コマンドがエラー出力を返す場合は、以下のトラブルシューティングの推奨事項を参照してください。

### 互換性のないバージョンの JBoss EAP

JBoss EAP XP マネージャーの **setup** コマンドは、以下のようなエラーを返します。

```
JBoss EAP version 7.3.1 is incompatible with the JBoss EAP XP stream. To run this manager, please upgrade to at least JBoss EAP 7.3.4.
```

このメッセージは、JBoss EAP XP 2.0.0 の正しいパッチにないことを示しています。パッチ 7.3.4 をダウンロードし、適用します。

### 一貫性のない状態の既存のパッチ

JBoss EAP XP マネージャーの **status** コマンドは、以下のようなエラーを返します。

```
The JBoss EAP XP patch stream setup in the JBoss EAP server seems broken.
```

このメッセージは、JBoss EAP XP が一貫性のない状態にあることを示します。この状態は、ユーザーが JBoss EAP XP でファイルを変更した場合や、以前のインストールで問題が発生した場合に発生する可能性があります。既存のパッチを削除し、JBoss EAP XP 2.0.0 をインストールします。

### 複数の JBoss EAP XP パッチストリームがインストールされている

JBoss EAP XP マネージャーの **status** コマンドは、以下のようなエラーを返します。

```
You have more than one JBoss EAP XP patch stream set up in the JBoss EAP server.
```

このメッセージは、異なるバージョンの JBoss EAP XP からのパッチが JBoss EAP に存在することを示しています。最新のパッチをインストールした後に古いパッチをインストールすると、この状態が発生する可能性があります。既存のパッチを削除し、JBoss EAP XP 2.0.0 をインストールします。

## 関連情報

- [JBoss EAP XP の削除および再インストール](#)

### 1.2.1. JBoss EAP XP の削除および再インストール

一部のステータスエラーを解決するには、JBoss EAP XP を削除して再インストールする必要があります。

## 手順



1. JBoss EAP XP マネージャー 2.0.0 の **remove** コマンドを使用して、JBoss EAP XP パッチストリームを削除します。

```
$ java -jar jboss-eap-xp-manager.jar remove --jboss-home=__<path_to_eap>__
```

2. JBoss EAP XP 2.0.0 を再インストールします。

## 関連情報

- JBoss EAP XP 2.0.0 のインストールに関する詳細は、[JBoss EAP 7.3.x への JBoss EAP XP 2.0.0 のインストール](#) を参照してください。
- status コマンドエラーの一覧は、[JBoss EAP XP 2.0.0 アップグレードのトラブルシューティング](#) を参照してください。

## 1.3. JBOSS EAP XP 2.0.0 へのパッチ適用

Red Hat が JBoss EAP XP のパッチをリリースした場合は、JBoss EAP XP マネージャーの **patch-apply** コマンドを使用して適用します。

### 手順

1. **製品のダウンロード** ページからパッチをダウンロードします。
2. 以下のコマンドを実行します。

```
$ java -jar jboss-eap-xp-manager.jar patch-apply --jboss-home=__<path_to_eap>__ --  
patch=__<path_to_eap_patch>_/jboss-eap-xp-2.0.1-patch.zip
```

プレースホルダー **eap\_home\_path** は、JBoss EAP インストールディレクトリーへのパスに置き換えます。**path\_to\_eap\_patch** は、JBoss EAP XP をダウンロードした場所へのパスに置き換えます。**jboss-eap-xp-2.0.0-patch.zip** は、ダウンロードしたパッチファイルの名前に置き換えます。

指定したパッチでサーバーが更新されます。

## 関連情報

- [JBoss EAP 製品のダウンロードページ](#)